

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">保育内容（造形表現）</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部教福2回生 教育教福2回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">田中 孝治</p>
<p>授業テーマ</p> <p>・幼児教育法（造形表現）を修得する</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>・教育要領では、発達の諸側面を5つの側面（領域）とし、相互の関連を基底とする「総合的な」幼児の成長を求めて、保育の展開を示している。日々の保育の活動においては、幼児一人一人の豊かな感性を育て、感じたことや考えたことを素直に表現する能力を高め、幼児がさまざまな造形表現を楽しむようにするために、保育者には多くのことが求められている。授業では、保育者としての基本姿勢・保育技術・造形表現の指導法を体得することをめざす。</p>		
<p>評価方法</p> <p>・出席状況・課題レポート・作品制作・保育指導案の作成・学習自己評価票・保育授業演習・期末テスト等により総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>・「造形表現」理論・実践編</p>	<p>著者</p> <p>・花篤實・岡田愨吾</p>	<p>出版社</p> <p>・三晃書房</p>
<p>参考書</p> <p>・適時紹介する。 ・担当教員から学習資料を提供する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 造形表現力の発達 ・発達にみられる造形的な特性 2 幼稚園教育要領と「表現」領域 ・表現遊びのねらいと内容 3 幼児の「遊び」と造形表現 4 「造形表現」指導 ・「造形表現」指導の原理と今日的課題 5 " " ・保育者の役割、援助の在り方 6 " " ・造形表現の読み取り 7 " " ・造形表現を促す環境、保育形態 8 「造形表現」内容の研究と実技 <ul style="list-style-type: none"> ・操作を楽しむ表現遊び 9 " " ・材料から思いついてする表現遊び 10 " " ・目的的な表現遊び 11 保育指導案の作成 ・保育指導案の骨子づくり・導入の工夫 12 " " ・指導案の各項目の意味と書き方 13 " " ・保育指導案の作成 14 幼児の美術教育思潮（造形教育の流れ） 15 「まとめ」とテスト 		
<p>（備考）①教科書研究を行う。（課題レポートの提出） ②保育内容（造形表現）で作成した自作資料は、教育実習時の教材研究や教員採用試験準備に有効な資料となる。</p>		